

希望のお客様は!!

デザイン無料キャンペーン及び設計・現地見学会 ご希望の方は下記アンケートにお答え頂いた上、FAXにてご返送下さい。

氏名: _____

住所: _____

TEL: _____

FAX: _____

ご希望の内容

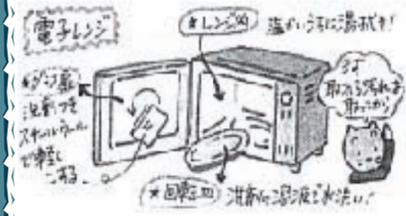
- ①設計・デザイン無料キャンペーン
 ②新築物件現地見学会

amasyo
株式会社 山庄
 TEL:075-813-5800(代)
 FAX:075-811-5550

～住まいのお手入れ～

電子レンジのお手入れ

電子レンジは洗剤拭きのあと
湯拭き、カラ拭きを!



使用後は回転皿をはずし、温かいうちに湯拭きしましょう。汚れがひどい時は、水がしたたる程度にしぼった布巾をレンジの中に入れ、1分ほど加熱して汚れがゆるんでから、台所洗剤や専用クリーナーをつけた布等で落とします。そのあと洗剤を残さないようにしっかり湯拭き、カラ拭きするのがコツですネ。

人生はパソコンやないんやから、消去する事は出来ません。つらい事でも自分なりにしっかり引き受けるからこそ次が巡ってくるんやちがうかなあ。

今は不景気やって言うてるけど、この先永遠に不景気が続く訳がないですやん。いずれ春が巡ってきた時に、どんな花を咲かせる事が出来るかは、冬の過ごし方によるんと違いますが、試練は全部ギフト、天からの贈り物なんや。それにどう向かうかでその後が決まる。私はそう思ってます。

たわいもない話ですが、あまりに不景気、不景気と世の中が騒がしいので書いてみました。あしからず・・・。



いようと、不景気に沈んでいようと、それは「見る側の心の問題」として、桜の方は人の手を借りていないだけに、健気に同じ花を咲かせます。

よく「一瞬の華麗さ」を桜の代名詞のようにされますが、私はどちらかというところ、この毎年毎年同じ事を変わず繰り返している、「老舗」のような定期連続性に「今年も変わらずやって来たか」と心を躍らされます。

「老舗」という言葉は実は私のキーワードでして、ご興味のある方はホームページの私のご挨拶のページをご覧ください。

毎年毎年良い事・悪い事様々な事が起こりますが、それでもやはり同じように春はやって来、老舗の如く変わらず桜は咲くのです。

以下はジャズシンガーの綾戸千恵さんのある雑誌での対談記事の一説です。この人は、見た目は底なしに明るい人ですが、心身共に相当の苦勞をされている方です。

ご自分のこれまでの人生様々について...
 「勿論しんどいですよ。嫌ですよ。そやけど、ここで逃げたら次のさくらは見られへんのとちゃうかな? 逆に今頑張ったら、どんな春が巡ってくるのかって楽しみになりますやん。」

春

宮川 浩一

あっという間に春がやってきました。桜が満開となり、おそらくこの瓦版が届く頃には桜のシーズンも終わっている事なのでしょう。

面白いもので、若い頃というのは桜を見ても、さほどの感動はありませんでした。強いて言うなれば、まあ宴会、飲み会(要するにバカ騒ぎ)のアイテムくらいのイメージが関の山だったように思い出します。

それが、最近(いい年齢になると)結構感動するんですね。桜に!

「綺麗さ」というのも、私の感動の要素としてはある程度のウェイトを占めてはいるのですが、それ以外にその「律儀さ」というか、他の花と比較しても圧倒的に開花期間が短いにも関わらず、人の手をほぼ借りずに、誠に律儀に仕事(開花)をこなす、その「健気さ」に相当の感動を覚えます。世の中がどんなに好景気で浮かれて

ほんの一例ですが... 最近のお引渡し現場



新築工事

D様社屋新築工事

平成21年3月末引渡し
 場所: 京都市山科区

★ アンケートにお答えいただいた方には、この情報誌を毎月郵送致します。

氏名 _____

性別 _____

生年月日 _____

住所 _____

TEL _____

FAX _____

メールアドレス _____

職業 _____

★ 今後、あなたの知り得たい情報は何ですか?

1. 建築(住宅)に関する情報
 2. 建築(インテリアデザイン)に関する情報
 3. 外食に関する情報
 ・和食
 ・洋食
 ・中華
 ・その他()
 4. 文化、歴史に関する情報
 5. その他 ()

amasyo
株式会社 山庄
 TEL:075-813-5800(代)
 FAX:075-811-5550

瓦版

企画及び発行所

近庄グループ
株式会社 山庄

〒604-8811

京都市中京区壬生賀陽御所町77-1 山庄ビル2F

TEL 075-813-5800

FAX 075-811-5550

E-mail office@yamasyo.net

URL http://www.yamasyo.net

PLAIN PEOPLEアーミッシュの生き方

平成21年5月2日(土)～8月2日(日)

アメリカで、電気・ガス・車など文明の利器を使わず、300年前の暮らしを守るプロテスタントの一派・アーミッシュのライフスタイルを洋服・学校教材・おもちゃ・書籍・生活雑貨や、写真・絵画など約300点を通して紹介。彼らの生き方や考え方から、真の幸せや豊かさ、進歩とは何かを問う。

【記念講演会】

「アーミッシュとは？－彼らの信仰とライフスタイル」
講師：ドナルド・B・クレイビル

【エリザベスタウンカレッジ教授・アーミッシュ研究者】

日時：5月24日(日) 午後2時～

「アーミッシュの服装－現代アメリカにおける古い伝統」

講師：ステファン・E・スコット

【エリザベスタウンカレッジ 再洗礼派・敬虔派ヤングセンター研究員】

日時：6月20日(土) 午後2時～

「アーミッシュという生き方」

講師：杉原利治【岐阜大学教授(環境情報論)】

大藪千穂【岐阜大学准教授(生活経済学)】

日時：7月12日(日) 午後2時～

※記念講演会はいずれも予約制・各先着100名・参加無料
(但し、別途入館料が必要)詳細は当館(075-751-1777)まで。



撮影：菅原千代志

思文閣美術館

京都市左京区田中関町2-7
(百万遍交差点西100m)
TEL. 075-751-1777/FAX. 075-762-6262
URL http://www.shibunkaku.co.jp/artm/

京阪出町柳駅から徒歩6分
京都駅から市バス 17・206番
四条河原町から 3・17・201番
百万遍下車



雑感

山内 庄一郎

(あて字とわかっていても厄介)

- ①蒲魚 ②お侠 ③箆棒 ④寸々
⑤素見し ⑥巫山戯 ⑦点々 ⑧竹篋
⑨没分曉漢 ⑩突慳貧 ⑪鯿背
⑫若気た

①いい歳して蒲魚ぶるな
(いいとしてかまととぶるな)

②お侠な娘に育っちゃって
(おきゃんなむすめにそだっちゃって)

③そんな箆棒な話、信じられん
(そんなべらぼうなはなし、信じられん)

④大雨で交通が寸々になった
(おおあめでこうつうがずたずたになった)

⑤素見しのつもりが買っちゃった
(ひやかしのつもりがかった)

⑥あのヤロー巫山戯やがって
(あのヤローふざげやがって)

⑦どうでっか？ま点々ですわ
(どうでっか？まぼちぼちですわ)

⑧負けたら竹篋だよ
(まけたらしっぺだよ)

- ⑨きみも没分曉漢だな
(きみもわからずやだな)
⑩突慳貧な返答にムツとした
(つけんどんなへんとうにムツとした)
⑪鯿背な姿に男も惚れる
(いなせなすがたにおとこもほれる)
⑫若気た若者が増えてるよね
(にやけたわかものがふえてるよね)

(誤読の定番)

- ①杜撰 ②奥義 ③直截 ④一入 ⑤病葉
⑥糊口 ⑦市井 ⑧一矢 ⑨刺青
⑩終の栖 ⑪長閑 ⑫柿おとし ⑬大地震
⑭呂律 ⑮出来する ⑯心太 ⑰時化
⑱鹹首 ⑲温州蜜柑 ⑳人事不省

- ① ○ずさん (×とせん)
② ○おうぎ (×おくぎ)
③ ○ちよくせつ (×ちよくさい)
④ ○ひとしお (×いちいり) *
⑤ ○わくらば (×びょうは)
⑥ ○ここう (×のりくち)
⑦ ○しせい (×いちい) *
⑧ ○いっし (×いちや) *
⑨ ○しせい (×いれずみ) *
⑩ ○ついのすみか (×しゅうのす)
⑪ ○のどか (×ちようかん)
⑫ ○こけらおとし (×かきおとし) *
⑬ ○おおじしん (×だいじしん) *
⑭ ○ろれつ (×ろつ)

40代からの子育て

山内 早苗

今年もまた桜の季節がやって来た。庭一面が散った桜の花びらでピンク色に染まる。義母が他界して四年目の春を迎え、今年初めて母屋でお客を迎えて花見をした。

蔵を整理しながら色々な道具も準備した。嫁いで三十年近くになるが、こんな風に母屋の全てを把握するとは思ってもみなかった。

私たちの婚姻が決まった時点でいずれはこの地に住む事になってはいたが、息子が十歳の春に庭の一角にあったお茶室を解体して場所を広げ、今の家を建てマンション住まいから移り住んだ。そこで庭を壁で仕切りお互いの住まいを木戸を通じて行き来した。

特に義母は長年、義祖父母との同居での色々な気苦労があったのだろう、やっと訪れた義父と二人っきりの生活を楽しんでいる様子で、月末にお寺さんがお見えになる時以外は私も意識して出入りを子供達に任していたので、両親が住まう母屋はある意味私には遠い場所でもあった。

ましてや蔵に関しては、生前に義母から「時期がきたら引き継いでもらうので、今は子育てに専念して。」と言われていた事もあり、まさか突然に義母が他界し何の引き継ぎ

- ⑮ ○しゅつたいする (×できる) *
⑯ ○ところてん (×しんぶと)
⑰ ○しけ (×じけ)
⑱ ○かくしゅ (×げんしゅ)
⑲ ○うんしゅうみかん (×おんしゅうみかん)
⑳ ○じんじふせい (×じんじふしょう)

*④ 入(シオ)は染の液に漬ける回数。

*⑦ まち。ちまた。市。井戸のあるところに人が集まった。

*⑧ 一本の矢。矢の音はシ。

*⑨ 入れ墨は犯罪者が腕に入れたしるし。背中の龍や弁天はシセイ。

*⑫ 舞台などの初興行。柿はカンナ屑。これを払い落としてゴー。

*⑬ 地震はオオ、震災はダイ。和語にはオオ、漢語にはダイ。大番頭なら？

*⑮ 例：汚職事件が出来た。

(漢字検定1級への道 訓編)

- ①強ち ⇒ あながち
②聊か ⇒ いささか
③抑も ⇒ そもそも
④辻も ⇒ とても
⑤雖も ⇒ いえども
⑥努々 ⇒ ゆめゆめ
⑦苟も ⇒ いやしくも
⑧吝か ⇒ やぶさか
⑨然したる ⇒ さしたる
⑩仄々 ⇒ ほのぼの

もなく、生き字引のお手伝いさんも居なくなつた今、手探り状態で把握する事など考えてもいなかった。

そんな思いとは裏腹に、いざ足を踏み入れてみると吸い込まれる様に蔵の中に座り込んでいる自分がいた。幼い頃こんな風にいつも古文書の整理をする祖父の傍らで、姉と共に家業の古道具や和本に囲まれ遊んでいたおぼろげな記憶が蘇り、懐かしさで一杯になった。気のせいか蔵の道具も長い冬眠から覚め、何かしら嬉しそうに語りかけてくる。

「ママー、この花びら掃くのか、掃かへんのかどっち？」庭で竹ぼうきを持ったまま娘が叫んでいる。社会科の宿題で「日常の買い物」を記録する。と言う課題があり、丁度庭ぼうきが古くなってきていたので、近くの雑貨屋まで買いに行き、三本の種類違いのほうきを娘と担いで帰ったついでに庭の落ち葉を掃除した。四年生になって身長も伸びた。

特に近頃は下着に興味があるらしく、「Uちゃん、ちょっとみんなと違うシャツ着たはるし、お胸の所がなんか彩のより分厚くてレースが付いてる。」と言う。「彩ちゃんもそんなシャツ買ってあげよか？」と聞くと「エー、ちょっとまだ早いと思うから、必要な時はじゃーまたママに言うわ。」とお姉さん口調の返答があり思わず笑いをこらえた。

相変わらず主人が早く帰って来た日には、「パパおふる一緒に入ろう。」と主人を誘っているが、近頃朝風呂の習慣に慣れた主人は、うれしい反面少し億劫らしく三度に一回ぐらいの頻度で娘のリクエストに答えている。

お風呂は主人と入る事が当たり前になっていたが、一ヶ月程前から私も意識して娘

- ⑪屹度 ⇒ きつと
⑫略 ⇒ ほぼ
⑬窃かに ⇒ ひそかに
⑭序に ⇒ ついでに
⑮辷るに ⇒ ねんごろに
⑯妄りに ⇒ みだりに
⑰等閑に ⇒ なおざりに
⑱徐に ⇒ おもむろに
⑲疾づくに ⇒ とづくに
⑳恣に ⇒ ほしいままに

(読めれば楽しい漢字 食材惣菜)

- ①素麺 ⇒ そうめん
②菓子麺 ⇒ きしめん
③雲吞 ⇒ ワンタン
④米粉 ⇒ ビーフン
⑤饅頭 ⇒ うどん
⑥外郎 ⇒ ういろう
⑦薯蕷 ⇒ とろろ
⑧金鑊 ⇒ きんつば
⑨雪花菜 ⇒ おから
⑩粽 ⇒ ちまき
⑪鹿尾奈 ⇒ ひじき
⑫摘入 ⇒ つみれ
⑬雁疑 ⇒ がんもどき
⑭鰯 ⇒ するめ
⑮海鼠腸 ⇒ このわた

ふと本屋に立ち寄り求めた「読めそうで読めない間違いやすい漢字」に出ていたあれこれ。

著者：出口宗和氏 八発行：二見書房

と入浴を心がけている。時々娘の小さな胸を撫でては「痛くない？」と聞いてみる。まだ何の変化も無いけれど、お友達の中にはもうパット入りのシャツを着ている子もいるらしく、時々チェックをする事している。

この間ソファーの上でふざけていた娘に、「ママのお膝において。」と冗談交じりに言う、「エーそんな、もうこんなに大きいのおかしいでー。」と言いつつ「彩、重いと思うでー。」と結局は座りに来た。

こんな風に何かにつけお姉さん意識が高まってきている。今年は娘の通う小学校でもはじめて一学年から六学年までの児童が揃った。入学した時は三学年しか居らず、四年から六年までの教室が綺麗なまま空いていたのに、ガランとしていた学校が急に手狭に感じられた。

教員もまた増員され新たな新学期の始まりでもある。四年の担任は国語担当のI先生。自ら沢山の教育図書を書いておられるベテランでもある。

親としては当たって欲しい先生であったが、娘はさすがに国語の宿題が毎日あるので「R組なんか宿題すくないのに。」と子供同士で情報交換しているらしく、最初は宿題をしなからぶつぶつ言っていた。

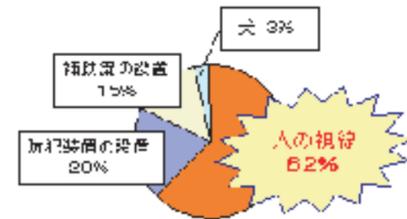
毎日テーマを決められた日記と、自学が週に二回あり、自学とは自分で決めた事をまとめる宿題で、娘は新聞記事から興味を持ったテーマを切り抜いてノートに貼り、横に感想や説明を書いている。最初に先生から参考にする様去年の四年生の資料のコピーをもらっている、各自が気に入った形を選択し、自分なりにアレンジしていく。答えのあるド

泥棒が警戒する家とは・・・

◆死角がなく、近所の人や通行人の目につきやすそうな家

泥棒が最も気にするのは「人の視線」です。プライバシーの保護も大切ですが、なるべく死角を作らないようにしましょう。

※犯人が犯行を諦めた理由



◆ご近所同士の仲が良く、尚且つゴミ捨てのルールなど社会のルールがきちんと守られている地域にある家

こうした地域では知らない人に対して警戒心を抱きやすい傾向にあるので、泥棒にとってはジロジロと視線を感じやすく犯行にでづらくなるようです。

◆ホームセキュリティが整っている家

☆防犯ステッカーや防犯カメラがよく見えるところについている(ダミーでも効果目あり)
☆玄関先や外壁に防犯ベルやセンサーアラームがついている
☆玄関や庭にセンサーライトがついている
こうした備えは、やはり泥棒に敬遠されるようです。



◆ドア、窓等に補助錠が設置されている家

泥棒の約7割は侵入するのに5分かかると諦める傾向にあり、10分かかると大抵は諦めると言われています。補助錠があると侵入に時間がかかるため、防犯度がUPします。

◆犬を飼っている家、入口や庭に砂利が敷いてある家

泥棒は音が嫌いなので、こうした備えも効果的。(まれに、犬に餌付けをして慣らしてから犯行に及ぶケースもあるとか・・・)

泥棒も必死です。私たちがも頭を使って泥棒が嫌がる家を目指しましょう。